

NEWSLETTER

No091019

ナンバーオペレーションはどのレベル(技能水準や規模)の方にとっても事業です。「事業」は英語では”business”(ビジネス)と言います。日本語の「事業」は「ビジネス」というカタカナの言葉より重い響きがあるように感じられます。「事業」というほど本格的に実践されない方もナンバーオペレーションを「仕事」として取り組んでいただければと思います。事実、それはカネの絡む仕事であり収益を生み出すものだからです。事業には「モノ・カネ・ヒト」の3つの要素が付きものですが、ナンバーオペレーションはカネ(マネー)にフォーカスしています。

この事業(仕事)がどのようにして収益を生み出すのか、どのような仕組みやからくりがあるのかをもう一度整理してみましょう。

ここで「事業」や「仕事」を「ビジネス」という言葉に置き換えます。「ビジネス」には会計の仕組みが付きものです。そこには必ずカネ(マネー)の流れがあります。カネの流れとはCF(キャッシュフロー)のことです。

現在実行しているハンドをご覧ください。それはCFを表しています。

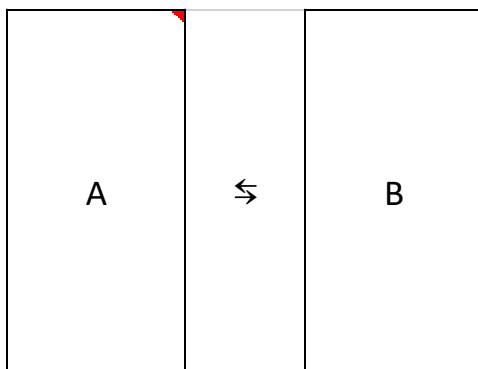
例えば、10C-1 @6.50 / 17P-1 @1.55 / 25C+1 @0.15

10C-1 @6.50 は 650ドルのインフロー(キャッシュの流入)を意味します。

A を「自分」(自社)、B をビジネスの「相手」とイメージしてみてください。

A と B の間で契約が買われ B からキャッシュを受け取ります。その代り、“10C-1”のハンドに関する義務を履行しなければなりません。義務とは“コンバージョン”による決済のことです。

*10C の場合は、通常エクスパイアの時点で ITV が 0.00 より大きいので自動的にコンバージョンによって決済されます。



⇐ VIXO のスキルは契約です。これによりCFが生じます。

同様に、

17P-1 @1.55 は 155ドルのインフロー(キャッシュの流入)を意味します。

A を「自分」(自社)、B をビジネスの「相手」とイメージしてみてください。

A と B の間で契約が買われ B からキャッシュを受け取ります。その代り、“17P-1”のハンドに関する義務を履行しなければなりません。義務とは“コンバージョン”による決済のことです。